



# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

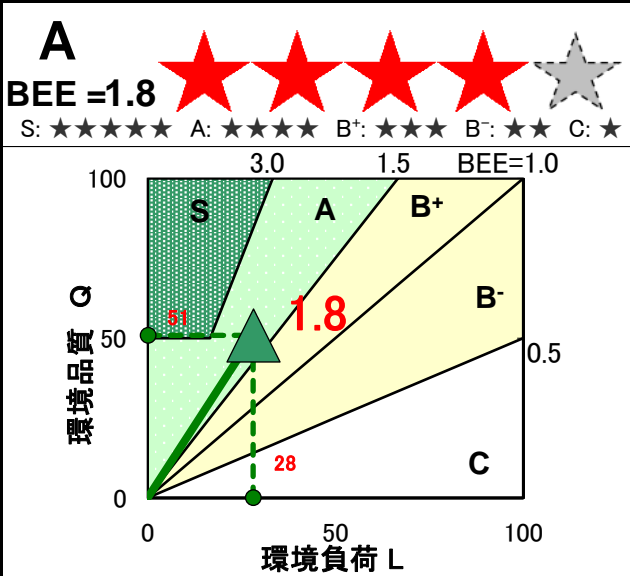
## 1-1 建物概要

建物名称	(仮称)大阪IRプロジェクト ブロックC新築工事		
建設地	此花区夢洲中1丁目		
建築用途	集会場、自動車車庫		
建築主			
設計者			
敷地面積	167,246.41	m <sup>2</sup>	
建築面積	60,416.65	m <sup>2</sup>	
延床面積	97,396.49	m <sup>2</sup>	
構造/階数	S造	/	地上4階
完了年(予定)	2030年7月		

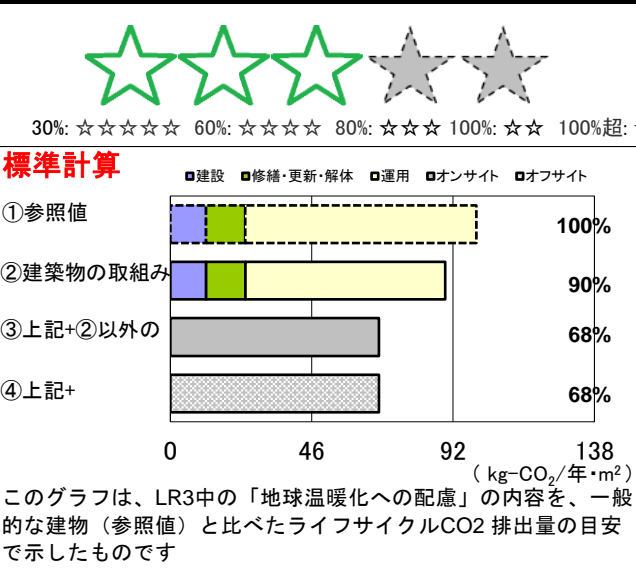
## 1-2 外観



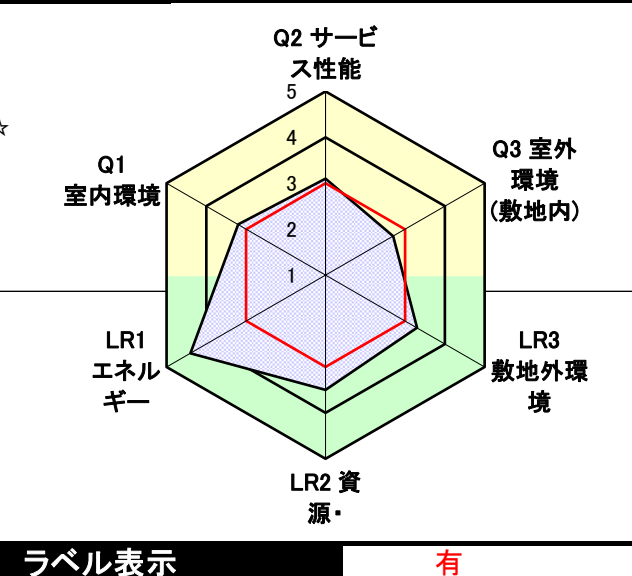
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



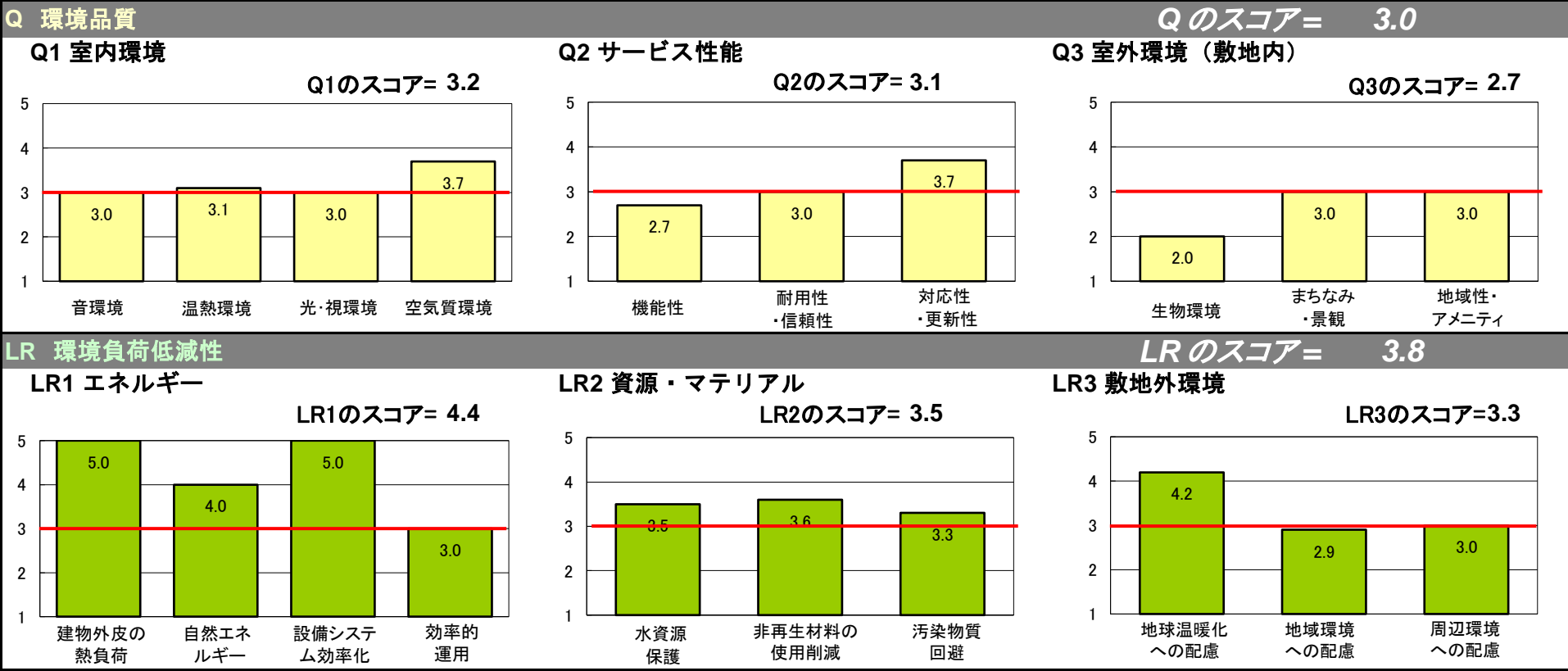
## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 3 設計上の配慮事項

<b>総合</b> 敷地内には可能な限り緑化を設けた。また、太陽光発電設備を設置し、環境負荷低減を図った建物としている。		その他 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> ホルムアルデヒドの放散量が極めて少ない建材を採用し、空気質環境を高めている。	<b>Q2 サービス性能</b> 維持管理に配慮した設計、及び耐用年数の長い配管材料を採用するなど耐用性、信頼性に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし。
<b>LR1 エネルギー</b> 外皮性能の向上を図るとともに、LED照明を採用し、エネルギー消費の低減に努めている。	<b>LR2 資源・材料</b> 省資源化に配慮し、躯体以外にはリサイクル材を採用したほか、断熱材にはODP(オゾン破壊係数)が低いものを使用した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 省エネ性の高い建築物とすることで建物使用時のCO <sub>2</sub> 排出量を抑制し、地球温暖化に配慮している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.8

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.2
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率＝65%	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	BPI＝0.53	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	BEI＝0.58	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)  
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BEI][BEIm]
	- (相当)	0.53
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.58	-
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		0.58